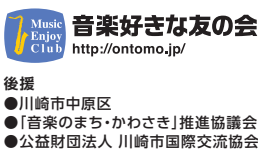


Mマガジン・サポーター（店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式サイトにてご確認ください）		
●公共機関		
・区役所	中原区役所5Fなかはらっば	中原区小杉町 3-245 Tel.044-744-3113
・会館	川崎市国際交流センター	中原区木月紙園町 2-2 Tel.044-435-7000
・会館	川崎市生涯学習プラザ	中原区今井南町 28-41 Tel.044-733-5560
・会館	かわさき市民活動センター	中原区新丸子東 3-1100-12 Tel.044-430-5566
・郵便局	川崎井田郵便局	中原区井田中ノ町 25-1 Tel.044-766-9724
・郵便局	川崎ブレーメン通郵便局	中原区木月 1-31-5 Tel.044-455-1800
・郵便局	川崎木月郵便局	中原区木月住吉町 11-12 Tel.044-411-9800
・郵便局	川崎木月大町郵便局	中原区木月大町 11-27 Tel.044-722-3617
・放送局	かわさき FM	中原区小杉町 1-403 武蔵小杉タワープレイス Tel.044-712-1791
・推進協議会	「音楽のまち・かわさき」推進協議会	幸区大宮町 1310 ミューザ川崎セントラルタワー 5階 Tel.044-544-9641
●元住吉西口（ブレーメン通り／井田中ノ町商店街通り）		
・コミュニティセンター	元住吉コミュニティセンター	中原区木月 1-29-18 Tel.044-422-3626
・音楽教室	SouleaveMusic School	中原区木月伊勢町 10-1 三起ビル 302 Tel.044-750-8992
・鉄板焼	ゆうき亭	中原区木月 1-28-16 Tel.044-434-6999
・ヘアサロン	キャメルヘアデザイン	中原区木月 1-32-10 中嶋ビル 1F Tel.044-872-7375
・カフェ	水谷珈琲	中原区木月 1-32-16 1F Tel.044-577-4288
・音楽教室	ファミリーミュージック Studio	中原区木月 1-32-22 コトオルウチダ 101 Tel.044-766-0184
・果物	フルッコ	中原区木月 1-35-1 Tel.044-433- 3338
・楽器店	スミノ楽器店ショールーム	中原区木月 3-10-3 Tel.044-411-5516
・ドラム教室	ムールドラムス	中原区木月 3-10-20 永塚ビル 103 Tel.080-3354-3210
・コーヒー専門	MUI	中原区木月 3-13-2 Tel.044-767-1368
・イタリア料理	オステリアポッカーノ	中原区木月 3-17-16 新井ビル B1F Tel.044-411-1003
・音楽教室	島倉 学ミュージックスクール	中原区木月 3-35-1ART FLATS B1F Tel.044-567-5940
・音楽教室	有隣堂日吉センター	中原区木月 4-31-7 Tel.044-411-5701
・コインランドリー	マンマチャオ元住吉店	中原区井田中ノ町 4-1 メゾンアッシュ Tel.0120-027-217
・理容室	Hair Salon Airs	中原区井田中ノ町 5-3 関根ビル 1F Tel.044-755-0273
・接骨院	井田名倉堂・栗山接骨院	中原区井田中ノ町 6-27 Tel.044-766-0850
・ヘアサロン	波照間	中原区井田中ノ町 8-1 Tel.044-797-5692
・カフェ	フォレストコーヒー	中原区井田中ノ町 33-1 Tel.044-754-1156
・時計・貴金属	つだとけいてん	中原区井田中ノ町 33-2 Tel.044-766-6022
・不動産	福街不動産	中原区木月紙園町 12-1 Tel.044-750-0409
●元住吉東口（オス商店街通り）		
・介護センター	みずたま介護ステーション元住吉	中原区木月 2-2-3 メゾンミール元住吉 Tel.044-430-6963
・鍼灸院	和式整体&整心の「響氣」	中原区木月 2-3-35 住吉名店センター 401 Tel.044-433-2880
・介護センター	ツクイ	中原区木月 2-8-5MK ビル 1-B Tel.044-431-0027
・古本・CD	凸つと凹つと	中原区木月 2-10-3 205 ペンチャーマックス Tel.044-411-7959
・動物病院	シリウス猫猫病院	中原区木月 2-10-6 Tel.044-789-9030
・調剤薬局	綱島街道薬局	中原区木月 2-16-10 Tel.044-750-0374
・イタリア料理	自在屋	中原区木月 4-10-6 Tel.044-433-5644
・STEAK	ステーキグラム元住吉店	中原区木月住吉町 7-7 Tel.044-433-4129
・音楽教室	PCK Music Studio (桂 宏実ヴォーカル教室)	中原区木月住吉町 21-5 鈴木ビル 3F-D Tel.070-5597-2230
・ライブハウス	パワーズ 2	中原区木月住吉町 21-5 Tel.044-455-0007
・音楽教室	Studio An (スタジオ・アン)	中原区刈宿 4-48 Tel.045-312-3146(横浜アオバ楽器)
●武蔵小杉近郊		
・紅茶専門店・喫茶室	Tea House ローズマリー	中原区小杉町 3-70-4 ホーユウバレス 1F Tel.044-733-1076
・蕎麦店	そば あさひや	中原区小杉御殿町 2-42-7 Tel.044-722-1768
・珈琲店	Cafe TEMO (テモ)	中原区上小田中 6-1-5 Tel.044-755-8234
・喫茶店	Coffee Spot Life (ライフ)	中原区上小田中 6-22-13 Tel.044-722-0024
●元住吉近郊・他		
・喫茶室	シンフォニー	川崎市幸区矢上 11-1 Tel.044-599-3499
・調剤薬局	駒沢通り薬局	東京都目黒区中央町 2-40-8 Tel.03-6412-7318
・写真	PHOTO SHOP 銀嶺	東京都港区六本木 7-8-4 Tel.03-3408-5406
・レストラン&バー	Public House びおにしも	川崎市小川町 16-15 ヒロサワビル 103 号 Tel.044-201-1668
・調剤薬局	オレンジ薬局川和町店	横浜市都筑区川和町 1218-1F Tel.045-929-1005
・カフェレストラン	カンファー・ツリー	横浜市中区海岸通 1-1 横浜貿易協会ビル Tel.045-211-2200
・ジャズ喫茶	マシュマロ	横浜市中区山下町 214 巴里堂ビル 2F Tel.090-2202-3294
・八百屋	八百屋ジャズ	東京都世田谷区等々力2丁目 16-14 Tel.03-3701-3860
●宮城県仙台／群馬県		
・カフェ	Antique cafe OLD TIME	宮城県多賀城市高崎 2-16-3 Tel.022-309-6728
・音楽教室	PCK Music Studio 大泉スタジオ	群馬県邑楽郡大泉町坂田 5-21-6 Tel.070-5597-2230

▲上記、サポーター記載は無料です。 ※2025年4月22日現在



A Free Magazine that Promotes Regional Revitalization through Music
Mマガジン
2025年8月16日号
2025年7月16日発行
(毎月16日発行)
第126号
発行・編集人：塚田親一
編集：藤田順治／大場明弘
江川公美
発行：音楽好きな友の会
川崎市中原区木月2-21-32
TEL 090-9398-2889
2025-7-16-800 Printing IT



2025年8月はお休みです。

音友レコード倶楽部

レコードコンサートのプログラムは
・Light music/軽音楽の集い
& Jazz Date/ジャズの集い
・持ち寄りタイム/持参レコード/CDを
楽しむ集いで開催中

2025
8
August

Yuta Tanaka: ギタリスト

1987年横浜生まれ。20歳の時単身イギリスに渡り、その後オーストラリア、マレーシア、フィリピン、ドイツ、スイスなど世界各国で演奏活動を行う。2023年には3カ月かけて世界約20ヶ国を周遊の「ピースポート世界一周クルーズ」で専属ミュージシャンとして乗船し毎日の演奏で乗客を楽しませる。現在も各国での演奏活動を継続し横浜のカフェレストラン・ライブ、YouTubeなど「ブルースと甘い切ないバラード演奏」にリスナーから定評を受けている。

連載06

ヴァイオリン王子が贈る "Buono!"なヴァイオリンのお話

ヴァイオリンと音程について

Bouno Naoki

ヴァイオリン奏者 坊野 称央己

13歳からヴァイオリンを始め上野学園大学音楽学部を卒業。アーティストサポートやイベントに多数出演する他、武蔵小杉・元住吉エリアにて出張レッスンやオンラインレッスンも展開中。

Violinist・坊野称央己
Official Site
naokibono-violin.com

ヴァイオリンという楽器は、技術的にとても難しい楽器と言われています。右手と左手は別々の動作を行いながら正しいフォームを維持し、様々な技法を駆使しながら演奏しなくてはなりません。そして何よりも「正しい音程」をとる難しさ。私が最も苦労した(今でも!)部分でもあります。ギターと違いフレットがない指板の上で、ミリ単位の正確さを求められます。純粋に指を置く位置だけでなく、指の角度や押さえる力加減でも音程は変わってきます。では、ヴァイオリニストはどのようにして正しい音程をとっていくのでしょうか。意識すべきポイントはたくさんありますが、最も大事だと思うことは「自分の音を聴く」ことです。私も高校・大学時代に、師匠から何百回・何千回と言われてきましたが、まずは自分がどのような音を出しているかしっかり聴くことから始まります。自分が出している音を客観的に聴くことは案外難しく、録音や録画で聴いてみると思ってい

たよりも音程が外れていたり、多くのギャップが生まれます。そのギャップを埋めるために、では指をどのように置いていけば良いか、どれくらい開けば良いかと模索していきます。また、ヴァイオリンでさらに重要なことは「倍音」を聴くこと。倍音というのは、一つの音を鳴らした時に、共鳴によって自然発生するいくつかの音のことで、ヴァイオリンが出す音にも倍音が多く含まれています。正しい音程で発せられた音は、多くの倍音を含む非常に豊かで心地よい音色になります。その音がどのような音なのか、とにかくじっくり自分が出す音に耳を傾けて向き合うことを続ける、それが正しい音程をとるためのステップになります。ヴァイオリンは幼いうちから始めるのが良いと言われるのは、そのように耳を鍛える必要があるためです。(ヴァイオリンに限ったことではないですね)

私もプロとして、心地よく豊かな音色を常に追い求めています。

連載01

世界旅と音楽～経験音を音にする

全てを変えたロンドン

はじめまして、ソログタリストのYuta Tanakaです。ギターは16歳から弾きはじめ、18歳ごろから演奏活動にはいりました。16歳で音楽をはじめと言うのは遅い位で、技術的には子供の時からやっている人には敵わないと感じていましたし、自分でも何かが足りないと思っていました。そんな中20歳になりたての頃、はじめてロンドンに単身で行きました。なぜ「イギリスか」と言われると米ロック界大御所ポール・サイモンが若い頃ロンドンで暮らしていたという印象が深く、またビートルズにプリティッシュ・ナイズされたアメリカの音楽にも興味がある時期だったからだと思います。

それまで海外旅行などした事なく、飛行機すら乗った事ありませんでした。英語なんてもちろん出来たもんじゃありません。ただ直感に従いそこには見えないものに導かれる感覚がありました。この2週間ほどの滞在が自分の人生を180度変えたと言っても過言ではありません。今まで日本で見てきた世界がいに小さいか、そして世界はもっと自由なんだと感じました。この旅がギタリストとして演奏活動をして行く事を決めた気がします。

当然ながらバックパッカー(1人旅行者)で、いろいろな国の人に出会うのも、あちこち泊まるのも初めてでした。そこには日本では感じられない人の優しさ

が在りました。また ホテルを探してやると言われてお金を騙し取られたりもしました。いろんなレストランやパブでフィッシュ & チップスを食べたり、アビー・ロードにいったりなど観光もしました。時には地下鉄でギター演奏をして止められたりもしました(ロンドンの地下鉄はライセンス制)。公園で英語で著した鈴木大拙の「禪とは何か」を読んだりもしました。

どれもが本当に良い思い出で掛け替えのないものです。はじめていったロンドンの地下鉄の匂いも忘れません。これらの経験があってこそ今の自分の音楽があります。もし「やりたい事!」があるのなら是非ともやってみて欲しいです。ゲーテの言葉で好きな言葉があります・・・「直観は欺かない、判断が欺くんだ。旅は続く。

川崎市国際交流センター

多文化共生を考える講演会

「モーリー流 変わりゆく世界との調和」

広島、富山で育ち、日本とアメリカ、両方の社会と教育を体験されて感じたこと、培われたもの。そこから、コロナ禍以降、急速に変化している世界情勢との中で、私たちは何を大切にし、強みにしていくのか。多様性、多文化共生社会へ向かっている日本社会へのメッセージを語っていただきます。

- 日時：8月30日(土)14時～16時(開場13時30分)
- 講師：モーリー・ロバートソン(国際ジャーナリスト)
- 入場料：1,100円(自由席)
- 会場：川崎市国際交流センター
- 定員：200名(先着順)
- 申込：・川崎市国際交流協会のホームページ
・川崎市国際交流センターの窓口で直接申込
- 主催：川崎市国際交流センター
指定管理者(公財)川崎市国際交流協会

申込フォームはこちら

●お問い合わせ
公益財団法人川崎市国際交流協会
TEL 044-435-7000 E-mail:kiankawasaki@kian.or.jp
ホームページ https://www.kian.or.jp/

川崎市生涯学習プラザ

第151回ランチタイム・ロビーコンサート

出演：児童合唱団なかよしくらぶ／合唱、ピアノ伴奏

[プロフィール]
地域に根付き、愛される合唱団を目指し高津区で発足。今年創立18年目を迎えます。保護者自主運営のもと、33名が在団。指導は川崎の歌姫・桜井純恵先生。

- 日時：8月21日(木曜日)
12:00開場／12:10開演／12:40終演予定
- 料金：無料
- 場所：川崎市生涯学習プラザ・1Fロビー

●予定曲目

- ・ゆかいに歩けば
- ・靴がなる
- ・夕焼け小焼け
- ・ありがとうの花
- ほか

●お問い合わせ
(公財)川崎市生涯学習財団 総務系 総務係 ロビーコンサート担当
TEL 044-733-5560 E-mail: concert@kpal.or.jp
川崎市中原区今井南町28-41
ホームページ https://kpal.or.jp/

音楽好きな友の会(音友会)

8月4日はルイ・アームストロングの誕生日

Fujita Junji

音友レコード倶楽部・藤田 順治

「サッチモ」のニックネームで愛されたジャズ界の巨人、ルイ・アームストロング。13歳のころ、少年院でコルネットを教わったことが音楽との出会いになった様である。軽々とトランペットを吹きこなす驚異的な実力や、卓越したアドリブ。それ以外にも独特な声による歌手として活躍された。しかし、私のルイ・アームストロングとの出会いはジャズではなく中学生の頃、聴いていた映画音楽であった。

ミュージカル映画「ハロー・ドーリー Ⅱ」(1969年)の主題歌「ハロー・ドーリー」で、主演のバーブラ・ストライサンドとの2人での後半におけるデュエット、同年の映画「女王陛下の007」挿入歌、「愛は全てを超えて」のスローバラードの楽曲をあの独特なダミ声で浪々と歌いあげている。

また、近年活躍している日本の男性ロックバンド「Suchmos(サチモス)」のバンド名の由来は、ルイ・アームストロングの愛称「サッチモ」から来ているそうだ。

♪ 2025年8月末定のお知らせ!! ♪
第200回音友レコード倶楽部は会場都合で未定です。
※詳しくは「音友会」のホームページでお知らせします。

https://ontomo.jp

音友レコード倶楽部PR動画!

「音友レコード倶楽部」をわかりやすく説明したPR動画を是非ご覧ください。

常連の参加者との共同製作です。
撮影・編集はギター奏者の永瀬晋が担当。
新規参加の前に、ぜひご覧ください。
YouTube配信中。

連載12 オカリナに誘われて 悩みは素敵

中学生からクラリネットも今だ続けていますが、音色を綺麗にしたいって、あんまり意識したことがありませんでした。それよりもいかに細かな動きに対応できるようになるかが、いつも課題でした。一番わかりやすい練習として、楽器を習い始めると、色々な基礎が身につくように音階の練習を、色々なパターンで練習します。これも以前の私には指の練習でしかありませんでした。今はオカリナで音色を追及したり、アドリブの勉強で教わった色々な音の響きの違いを感じたりして、スケールを吹くときも、自分の音色を楽しみながら、あの調はこんな音がするんだなって思いながら練習出来ます。これもオカリナのおかげ。内緒ですがつまらなかった音階練習は今はずっと楽しい練習になりました。

色々なプレイヤーの演奏を聴いても、どうしても指が回る演奏に、テクニックがあつてすごいと思って憧れてしまいました。この人の音素敵とか、この歌い方素敵ってなかなか思うことがなかったように思います。これは自分が音色というものにあまり関心をおいていなかったの、感じずらくなっていたのかもしれない。今は音色や音の雰囲気などとても興味津々で聴くようになりました。



オカリナに出会って、今まで考えていなかった悩みと沢山出会いました。音色のことや、フレーズの吹き方とか、ピラートのことなどです。今までは、指をいかに早く動かすかとか、タンギングはどうしたら早くなるかとかそんな事ばかり考えていて、もっと 演奏するのに大切なことがいっぱいあるのに、考えが及ばませんでした。

一番変わったのは、今までは人に聴いてもらう演奏を目指していなかった事もあります。オカリナはあまり知られていないので、この仕事を始めて、まず自分で演奏して知ってもらう事が大事だと思ったのがとても良かったんです。オカリナの一番の良いところは音色だと思うので、いい形で伝えたいと思って。だから、沢山の悩みが湧いてきて、自分を成長させてくれた。悩んでこんな素敵なものなんて、今まで思ってもみなかった。クラリネットも今は音色を存分に楽しみながら演奏しています。

悩んだ結果のご褒美ですね。

小棚木 恵美子



「思い通りに演奏できる!オカリナ上達のポイント50」監修出版。神奈川・東京を中心に演奏活動しています。
第二・四(水)、(金)には、武蔵中原駅近くのコーヒースポットライブにて、オカリナ体験できるレッスンや オカリナのお悩み相談を受けるレッスンやイベントを開催中♪
2025年7/9(水)、11(金)オカリナ吹こう会&花ミナライブを開催します。オカリナ持ってご参加ください。ご予約受付中です。
予約受付 090-2436-5985 花

Instagramも是非のぞいてください
https://www.instagram.com/emikokotanagi/

Instagram
@emikokotanagi



特別寄稿 Conversations 音友レコード倶楽部・音楽談議

幻の日本人ガールズバンド "Tokyo Happy Coats"

Ohba Akihiro
DJ担当:大場 アキヒロ

アメリカの有名な音楽バラエティ番組のひとつに『エド・サリヴァン・ショー(The Ed Sullivan Show)』がある。1948年から71年まで続いた長寿番組であり、出演したゲストはクラシック、オペラ、ジャズ、ポピュラー音楽の演奏家やシンガー、またコメディアン、バレエダンサー、曲芸師など多岐にわたっていた。出演にあたってはオーディションがあり、その可否基準も厳しいものであったようだ。現在Youtubeで正規の専門チャンネルがあり、当時の出演者の歌唱・演奏を見ることができる。1960年代にはザ・ピーナッツ、坂本九、ジャッキー吉川とブルーコメッツ、ナンシー・梅木、雪村いづみといった日本人も出演している。そんな中、出演者に『Tokyo Happy Coats』という日本人ガールズバンド(写真①②、以下

『THC』と略す)を見つけた。
トークショー・ハッピー・コーツ?聞いたことがないぞ…にわかに興味が沸き、いろいろ調べてみた。まず、彼女らは実の日本人姉妹とのこと。ハコモリ・エイコ、ケイコ、ショウコ、トミコ、ルリコという名前だそう。『ハコモリ』という姓はあまり聞かないが、箱森または箱守という漢字のようで少ない苗字であろう。元々は『The Gay Little Hearts』というグループ名で1950年代半ばから日本各地の米軍基地などで演奏しており、東京・赤坂のナイトクラブ『Latin Quarter』にも出演したことがあるらしい(力道山が刺されたNew Latin Quarterではなく、その前身のナイトクラブ。1956年に火事で焼失)。1964年頃まで日本で基地出演などを続けたが、その後活動拠点を

アメリカに移してグループ名を『THC』に改称したという。なお『Tokyo Happy Coats』のバンド名は法被(はっぴ=Happy Coat?)と掛けられているらしく、出演映像を見ると法被のような衣装の時がある。

『THC』の音源だが、アメリカの独立系レーベルより1970年に2枚のアルバムとシングル盤がリリースされているのみである(写真③はその1枚)。CD化はされておらず、日本では過去よりレコード、CDともにリリースされていない。曲や演奏スタイルについては字数の制限があるので、ここでは触れない。Youtube等をご覧いただきたいが、①②の写真からイメージされたとおりのサウンド、と記しておきたい。実は筆者は彼女らのレコードは持っていない。今となっては極めてレア盤であり、ネットオークションなどにもほぼ挙がらない。以前、中古レコード店のWebサイトで③の中古盤が売られていて13,000円の値がついていたが、見つけた時にはSold Outだった。

『THC』は1970年代中頃までは活動していたようだが、はっきりしたことは分からない。ご健在なら皆さん80歳代と思われるが、お元気なのだろうか。いろいろ謎が多く、興味は尽きない。



▲①宣材写真1



▲②宣材写真2



▲③『THC』のLPアルバム

特別寄稿 Conversations 音楽談議

楽しかったスピーカーシステムの自作

Shiranita Kazuhiro
DJ担当:白仁田 一浩

6月号では筆者が40年間愛用しているアナログレコード再生システムを紹介しながら購入した頃の思い出話を綴ってみたが、本格的にオーディオに興味を持ち始めた頃が無性に懐かしくなってきた。そこで今回は中学生頃から始めたスピーカーユニットいじりについて語ろうと思う。1970年代、自宅にあったオーディオは、レコードプレイヤー、チューナー、アンプ一体型の「モジュラスステレオ」と呼ばれたメーカー不明のかなり古いもの(写真①はイメージ)で、付属のスピーカーは10cm程のごく簡易なフルレンジだったと思う。このセットで特に不満なFM放送の音楽番組等を聴いていたが、デパートのステレオ売り場(当時のデパートには必ずあった)で初めて耳にした本格システムコンボからの音がいかに豊かで、自宅の音が「何だか全体的にこもっていて物足りない…」と感じ始めた。と同時に、音の最終出口であり音質を決定づけるスピーカーユニットに興味を湧き、自然とスピーカー関連の本を読み始めるとともに「音楽をもっと良い音で聴きたい」と言う思いが強くなっていった。しかしお小遣いでは新し

いスピーカーはとても買えない…そこで出会ったのが「スピーカーシステムの自作」である。早速、最も手軽に音質を改善できるという「ツイーターの追加」を実践。コーラルの廉価なホーンツイーター H-30(写真②)をお年玉で(笑)買い、クロスオーバー周波数を4kHzに設定し自宅のモジュラスステレオのスピーカーの上に乘せてみた。音を出した時の衝撃は今でも忘れられない。シンバルがパシーン!と鋭く鳴り、ボーカルの輪郭が浮き上がり、全体の解像度が劇的に上がった。ここからオーディオの魅力とHi-Fiスピーカーシステムの自作にはまっていった。今度はもっと低音の迫力が欲しくなり、モジュラスステレオの古いフルレンジユニットを取り外してテクニクスのEAS-10F10(写真③)に交換してみた。キャビネットのサイズがちょうど良かったのか、低音が豊かでバランスの良いバスレフ型2ウェイシステ



▲②CORAL H-30



▲③Technics EAS-10F10



▲④CORAL 8A-70



▲⑤FOSTEX FT90H

連載29 脱線ニューヨーク滞在記 思い出し寄り道編/1977年頃ブラジル

Demura Katsuaki

出村 克明

前号からのつづき
リオデジャネイロに着きました。この地名は統治国であったポルトガル(ブラジル 独立は1822年)の探検隊が1502年1月、リオデジャネイロに面しているグアナバラ湾を訪れた際に湾を川と勘違いし1月に訪れた事からポルトガル語で「1月(ジャネイロ)の川(リオ)」と名付けたそうです。ボサノバの題名みたいです。因みにアントニオ・カルロス・ジョビンの「3月の水(雨)/AGUAS DE MARCO」があります。

滞在先はレブロン海岸のある地域でリオではわりと高級住宅地の様でした。ビーチも歩いて5分位、イパネマやコパカーナと比べてそれほど観光客もいなく落ち着いた町でした。家は菅野さんの知り合いが家主で、彼はお金持ちのブラジル人女性の家に住んでいたもので、都合よく住まわしてもらいました。

僕等が滞在した家もそうでしたがブラジルの住宅は大抵の家にトイレ、バススタブとは別に日本では目にした事が無かったビデがありバスルームはトイレ張りで広めでした。

僕が中学生の頃読んだ本で、うる覚えですが英文学の面白い先生が著したヨーロッパ紀行の一節に或る日本人がビデを何であるか知らなく用を果した失敗談が書いてあり、それがどんな風にできているのかとか、どの様に使うのかとか、中学生らしく金田一京介監修の国語辞典で調べたりで考えあぐねていたのを思い出し、これがそうかと感慨深いものがありました。僕がヨーロッパを旅した時は気が付かなかったのですが、調べたところビデはフランスからイタリア、スペイン、ポルトガルに伝わり中南米へと広がりましたが1975年には設置が義務付けられたため、現在でも高い普及率となっています。と、ありますが本当ですかね米国はしかり、僕が行った

他の国々で見た思いは無いです。貧乏旅行だったからでしょうね。日本ではシャワートイレが暫くして普及しました。てな事で久しぶりに湯ぶねに浸かり隣に鎮座ましましているビデを眺めながらバス旅の疲れを癒しました。

大抵朝遅くまで寝ていましたが遠くから聞こえてくるスルドの音で目を覚ました、その時は気に留めなかったのですが▲スルド



校のサンパ部活かカーニバルに向けての練習だったのかもしれませんが。浮世離れ隊(UFO撮影)活動開始で二、三日はビデオ機材をビーチに運び三脚を立てUFOを待っていました。が、冬(この季節日本は夏)とは言えど肌ジリジリの炎天下、機材をビーチ脇に設置したままでは海にも入られず一途に座り続けていました。砂

浜はアゴゴを叩きながらのアイスクリーム売りやビキニスタイル

ルのお嬢さん達、そのほうが気になり、UFOを見つける前にまず機材なしで行って目の保養をする事に。と、海に入りましたが、それほど深くない所で波に飲まれ呼吸が出来なく苦しい思いをし、これは不埒な想いに耽る僕をイエマンジャが戒めたのかと。妙に信心深くなり後は神任せと、ご都合主義で大事な何事もタイミングだと云うことでビデオ機材での撮影はお休みする事にしました。するとタイミングが良いのか悪いのかビデオ機が故障しました。それか

▲アゴゴ



▲ビキニスタイルのお嬢さん /ブライアン・ハイランド-1960

パーカッション奏者
コンセプチュアルアーティスト
現代アートでは空気、無を梱包して送る
エアメールアートを展開している。

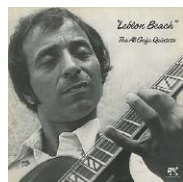
らは8mmカメラを携帯する事に。この頃はまだビデオが普及してなく直す為に菅野さんは領事館の知り合いに聞いてやっと修理屋を探しましたが、機材を預けて何時行っても「明日またね」の「アテアマンヤン」とか「アスタマニャーナ」で「アシタ間二合ウナ」と聞こえる様には違って「アシタ間二合ワナイ」日々が続きました。僕は呑気にアマゾン探検などを空想し、ジャングルでジャガーとの鉢合わせに備えての短剣を買ったりで。バカでした。その何年か前、アルジェリアへ行った時無謀にもサハラ砂漠を渡ろうと考えた時と同じノリの妄想でした、その時はアルジェのサハラ砂漠関係の所で許可が必要だと言われてやめたのですが。アマゾンもそうでした。

とりあえずはリオデジャネイロから片道。3、4時間でのバス旅でカポフリヨへ。名前の確認などSNSで調べたところ今や美しいビーチとしてイパネマやコパカーナからも人が来るほど有名になっています。当時は…

次号へ



▲Elis Regina & Tom Jobim / Aguas de Marco 3月の水(雨)



▲Al Gafa Quinteto / Leblon Beach レブロンビーチ

連載03 サックスと私 サックスを演奏する事



先日、生徒さんの発表会を熊本でやって来ました。

割とご高齢の方中心の生徒さんですが、JAZZを筆頭に、フォークソング、洋楽、演歌を吹きながら歌ってしまう等様々なジャンルに渡ります。通常発表会という、ホールを借りて正装して、緊張感の漂う感じですが、僕の行っている発表会は、お酒を飲み、食事をしながらというリラックスしたものです。

どうしても演奏する方は、緊張感たっぷり、手や足が震えたりしますが、それを少しでも和らげる為に事前インタビューや、その場での予行演習など、できるだけ硬さをとっての演奏をする様

◀港の見えるホールでデュオライブ

Yonezawa Mitsugu
サックス奏者:米澤 貢

に心がけています。結果、間違えても本人の出来はイマイチでも、お客さんの声援や拍手は盛大に盛り上がり、演奏された本人もとてもハッピーになれる様です。

もし、失敗してどうしようもない時は、最初からやり直しもあり!なんです。

そんな楽しい会には、サックス以外に、弾き語りや、バンド、三味線、二胡、プロの演歌歌手等バラエティーに飛んだ演奏内容となり、そのタイトルも「サックスと音楽を楽しむ会」となるのです。

来年は記念すべき第20回を迎え、何かイベントをと考えています。

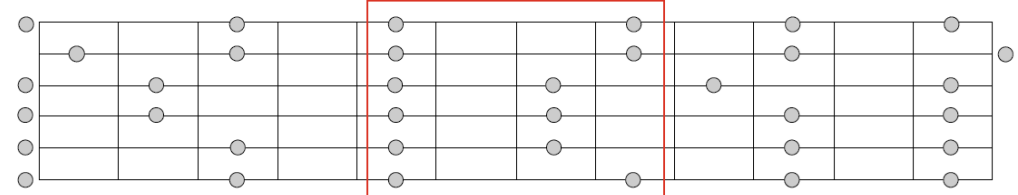
連載87 Course: Addicted to Guitar Blues Key in A マイナーペンタトニック (ブルーノート)

Nagase Susumu

ブルースロックピン芸人 永瀬 晋

いつもお世話になっております。今回も引き続きギターを始めたばかりの方への攻略コラムを紹介していきたいと思ひます。前回からブルースセッションのお話がスタートしまして、Key in Aでのバックギングをご紹介をさせていただきました。今回は別途リードギターに使う鉄板の音階と言われている「Aマイナーペンタトニックスケール」のご紹介

です。この音階も丸覚え必須でございますので、早速図のチェックをしていきましよう。ギターの指板上にスケールを示していきますと端から端まで結構な数の音になってしまひますが、実際によく使われるポジションは太線で囲ったできました。今回は別途リードギターに使う鉄板の音階と言われている「Aマイナーペンタトニックスケール」のご紹介



MOTTON CLUB
♪♪掲載登録アーティスト募集中!!♪♪

全国のミュージシャン、および音楽活動に関わる人をネットワークし、そして演奏の場を創り、ライブと楽曲の発信活動の後押し、が目的です。元住吉から世界に向けて配信しています。
演奏者の方々で「モットンクラブ」から配信希望の演奏動画も募集しています。(近郊で企画、運営可能なスタッフも募集中)

